

0-1-1

がん補完代替医療におけるアガリクス「抗源力」の使用経験 免疫学的パラメーターの検討

Using experience of Agaricus in Cancer Complementary and Alternative Medicine(CAM)

-Examination of Immunology Parameters-

○平田 章二

平田口腔顎顔面外科がんヴィレッジ札幌

Regarding Cancer CAM, QOL of the cancer patients of Agaricus "Kougennryoku" which the Kobayashi medicine manufacture developed and the influence which is given to immunologic function were inspected. Daily for 3 months it had drinking "Kougennryoku" 11examples of the head and neck cancer patient. As "Kougennryoku", the reinforcement effect was seen immunology, was thought significant useful drinking for advance cancer case, recurrence case and inhibition of immunologic function case after cancer treatment. Furthermore, the advance cancer being, QOL was maintained, it was suggested that plus action works in immunologic function .

【目的】

がん治療においては、がん細胞を徹底的に殺すことを目的とした抗がん剤や放射線治療は見直されはじめ、がん統合医療の必要性が言われるようになってきた。即ち西洋医学に、東洋医学をはじめとする補完代替医療を組み合わせたがん治療である。中でもサプリメントは多くのがん患者が使用し、その役割は大きい。そこで、小林製薬が開発したアガリクス「抗源力」を使用する機会を得たので、がん患者の QOL や免疫能に与える影響を調べる目的で、これに同意したがん患者に飲用してもらい、その有用性を調べた。

【方法】

頭頸部がん患者 11 例（進行がん 6 例，術後転移 2 例，術後免疫低下 3 例）に対し，がん補完代替医療の一環としてアガリクス「抗源力」を 3 ヶ月間飲用してもらった。抗源力飲用前，飲用中，飲用後に患者より採血を行い以下の項目を調べた。①血算；WBC（B,E,Ne,Ly,MON）,RBC, Hgb, Hct（MCV,MCH,MCHC）PLT ②生化学；TP, UN, T-Cho, T-Bil, GOT, GPT, Na, K, Ca, Fe, CRP ③腫瘍マーカー；SCC ④免疫学的パラメーター；CD4, CD8, CD4/8, IFN- γ , SOD, IL-6, IL-10, IL-12 ⑤がん患者の QOL の変化；身体的症状，精神的な問題点，日常生活について

【結果】

進行がん 6 症例中 2 例は「一般病院から治療の手立てがない。」と宣言されたにもかかわらず，驚くべき抗腫瘍効果が見られ，注目すべき症例であった。しかし残念にも 2 例とも，抗源力中止後，腫瘍の増大が見られた。その他 4 例は十分な抗腫瘍効果は見られなかったが，痛み，倦怠感，食欲などの QOL の改善が見られた。手術後転移症例に対しては，頸部リンパ節転移が見られているが，QOL を維持しつつ，転移巣の増大は抑制されていた。

【結論】

抗源力のはがん補完代替医療において，臨床所見や血液学的に免疫増強効果がみられ，進行がん症例，手術後転移症例そして術後再発予防症例に対して有意義な飲用と考えられた。

さらに，進行がんであっても QOL は維持され，免疫能にプラス作用が働いていることが示唆された。